

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

令和6年3月末日 発行

発行
公益社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 高野 淑恵

〒330-0062 埼玉県浦和区仲町2丁目14-6 ハウス第五仲町101
TEL 048-833-0444 FAX 048-833-0400
E-mail:saitama@teotunagu.jp
ホームページ http://www.teotunagu.jp/

定価50円
(購読料は
会費に含む)

やまびこ

No.272

平素よりご支援ご協力いただいております皆様様に心より御礼申し上げます。

また、本年元旦に起きました能登半島地震におきまして、亡くなられた方に哀悼の意を表しますと共に被災されたみなさまには、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

日本はどこに住んでも地震が多いのですが、日本中の人たちが新年を祝っているときに、あれほど大きな地震がくるなんて酷すぎます。人類がどんなに進化しても、大自然の力の前では為す術もないことを思い知らされます。暖房さえ足りていない避難所で、大切なものをたくさん失って呆然と座り込んでいる被災者の方々を見ると、心が傷みます。決して他人事ではありませんから。一日も早く希望と安寧が訪れますようにと思います。

このような大きな災害が訪れると必ず思うのは、知的に障害を持った人とその家族の大変さです。決

「災害時にも合理的配慮を…」



公益社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長
高野 淑恵

られた日常を壊すイレギュラーな状況、知らない場所、知らない人との接触などなどを我慢できないのは、知的障害の特性であって、我がままであるとか親のしつけが悪いなどということでは決してないのです。じつと座っていられないこと、大きな声を出してしまうことなどは状況が理解できず、この先どうなるか想像もできず、不安で不安で仕方がないのに、それを言葉で訴えることができないからなのです。そのことを一番よく理解している家族であつても、それでも、「静かにして!」「じつと座っていて」と言わざるを得ません。周囲の人の目が堪らなく怖くて、苦しくてつらいからです。だからと言って、どちらも、だれ一人、責められはしません。

絶望は人間の心を苛み、優しさや寛容さを削り取ります。平常な社会でさえまだ遠い「共生社会」…。極限に置かれた人たちに「共生社会」を説いたり求めたりすることはできません。

「社会的弱者」という言葉はあまり好きではありませんが、大きな災禍に見舞われたとき、知的障害者とその家族はまさに「社会的弱者」であり、普通の避難所の中に居場所がありません。身も心も縮んだまま心を凍結して過ごさなくてはなりません。結果として、車のある人は車中泊をしたり、崩壊の

危険のある自分たちの家に戻れないのです。

今回の災害で知ったことですが、車中泊や危険な自宅に戻った場合、公的な支援物資はもらえないのです。これは重大な死活問題です。「合理的配慮」は、災害時においてこそ必要不可欠であることを理解してほしいです。災害時には消滅する合理的配慮など何の役に立つでしょうか?

ある日、自衛隊の人たちが仮設のお風呂を作って被災者が入浴している報道を観ました。入浴できてよかったなあと思っていたのですが、そのお風呂も支援の手の要らない人しか入れなかったのだということの後で知って、とても驚きました。

障害者のための避難所の必要性を市や県の会議で何度か要望してきましたが、なかなか実現しませんでした。何も贅沢な要望はしません。大声で叫んだり、走りまわったりすることで、何とか恐怖や不安と葛藤している知的障害者とその家族に、他人の目を気にしないでいられる空間を作ってほしいだけです。

それが「合理的配慮」でなくて、何が「合理的配慮」でなくて、災害時における「合理的配慮」こそ真っ先に考えてほしいと切に望みます。

相談支援事業部会

埼玉県知的障害者相談員研修会

2023年
12月8日(金)
熊谷商工会議所

2024年
1月19日(金)
埼玉会館7B会議室

講師
埼玉県立大学名誉教授
朝日 雅也

今後の知的障害者相談を考えると
アウトリーチの
視点を踏まえて

知的障害者福祉法にて知的障害者相談員が位置づけされています。市町村から委託され、地域で知的障害のある人や保護者などの相談などに応じるしごとです。知的障害者についての教育、福祉事業に経験があるほか、更生援護に熱意があるうえ、人格者で識見が高く、社会的な信望があることがもともと求められます。ほぼ無報酬のボランティアで活動いただいています。

二〇二四年三月末日発行(二七二号)

市町村にて相談員の存在を周知できていない現状があり、相談しなくても窓口がわからないで、悩みを解決できない状態なのは、そこで今回のテーマ「アウトリーチ」。医療・福祉関係者が申請や相談を待つばかりではなく、積極的に対象者のいる場所に向いて働きかけ、潜在的なニーズを抱える対象者の発見。ニーズの把握。問題解決に向けた動機付けを行いながら自ら支援を望まない人々にも積極的な支援を行う。というお話をされました。

たとえば、自発的に申し出をしない人に対して公共機関などが、積極的に働きかける。医療機関が、在宅患者・要介護者を訪問し、社会生活を支援する活動などです。




今後の主な行事予定

2024年
5月21日(火) 令和6年度 理事会
埼玉会館5B会議室 10:00~12:00

6月8日(土) 第72回定時社員総会
埼玉会館7B会議室 10:00~12:00

9月28日(土) 第58回関東甲信越ブロック大会
新潟大会

10月12日(土)13日(日)
全国大会秋田大会

2025年
3月2日(日) 第59回県大会 秩父市

研修会では初対面の参加者同士で相談員あるあるのお題でお話をしていただきました。共感できることがたくさんあるようでした。相談者の多くは、相談ということにより、話しを聞いて欲しい要望が多数と意見がでていました。



書籍紹介：障害と人権の総合辞典
やどかり出版
今回の研修会で使用。参加者に配布しました。
朝日先生も監修されています。

未来あんしんサポート NEW 2023年7月、新しいプランが新登場 “月払”または“一括払”の2タイプからお選びいただけるしくみへ

未来あんしんサポート

「知的障がい」や「自閉症」「発達障がい」「ダウン症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配… この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
通話料 無料
0120-580-503
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●(株)ジェイアイシーの担当者(生命保険募集人)は、お客さまと各生命保険会社の保険契約締結の媒介を行う中で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約はお客さまからの保険契約のお申込みに対して各生命保険会社が承諾したときに有効に成立します。●(株)ジェイアイシーは「個人情報保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2023年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

所属信託会社
みずほ信託銀行株式会社

所属生命保険会社
第一フロンティア生命保険株式会社
または
マニユライフ生命保険株式会社

MLJ(営教)23050318

保護者の感想

- 「自閉症の文化を知る」と言う言葉がとても印象に残りました。こちら側が教えてもらう、相手を知ると言う姿勢が大事と言うことを教えていただき、ありがとうございました。
- 生活の中で忘れてしまいがちな「本人の視点を想像する」ということを思い出すことができました。比較的狭い環境と短い時間で繰り返し練習して、日常生活に広げていくというお話、こちらが約束をきっちり守ると言うお話を肝に銘じたいと思います。
- 自閉症の文化という考え方で、介助していくと安定した生活へ繋がる点。日々心がけたいと思いました。
- トレセミや何が子どもにとって必要か話してください、大変勉強になりました。
- 私の息子はまだ小学生で、今の学校や放デイなど、周囲の理解も得られていることを感じられる恵まれた環境だと感謝しています。ただ、今後自分が老いても子どもが生きていけるスキルや環境を少しずつ考えていかなければならないと思いました。また、本人が予測可能で落ち着ける生活を少しずつ増やせるように本人のサインを大切にしていきたいと思います。



相談支援事業部会

埼玉県自閉症協会

合同講演会

令和5年12月15日(金)

埼玉会館

3C 会議室

そこが知りたい勉強会

今回は埼玉県自閉症協会との合同講演会を企画しました。講師は志賀利一氏。詳しくわかりやすい講座で人気です。定員100名を超える参加希望者があり、久しぶりに盛況な講演会でした。

保護者のための強度行動障害基礎講座。テーマは家庭でそして子育ての中で気を付けること。

今まさに子育て最中の保護者参加者。福祉関係職員の方々からの感想をたくさんいただきました。

福祉関係者の感想

- 強度行動障害についてや、それを支援する方法を学ぶことができ大変参考になった。また、支援する方法の具体的な例があったのがわかりやすかった。「完全な治療はない」という言葉が大変印象的でした。
- 強度行動障害のある方への支援を行っています。志賀先生の講座、本当に参考になりました。「文化の違いを理解する」という言葉が心に刺さりました。今日の内容を施設の他職員にも伝え、支援に活かしていきたいと思います。
- 「保護者に向けた」という研修は少ないように思います。とても興味深い内容でした。ありがとうございました。
- 新たな気づきがたくさんあり、とても参考になりました。また、自身の支援内容での反省点などもたくさん感じました。ありがとうございました。



事業部会活動の紹介

家族支援部会 ファシリテーターの集い

令和5年7月7日(金)
市民会館おおみや 集会室9

令和5年度の県大会の本人会でカーレットをすることとなり、家族支援部会では先がけて、狭山カーレットクラブまでこぞ代表の堀夫妻の指導をいただけるということで今回、ワークの合間に体験会を取り入れてみました。

目的とルール・自己紹介ゲームで和んだ後、2チームでカーレットを体験。ルールは簡単シンプル。ただ、滑らせる力加減が難しい。強いとオーバー。弱いと届かない。何度かストーンを取り扱っているうちになんとなく感覚がわかってきました。

今回は応援や掛け声を手話でしましょうということで、身振り手振りで声出しの手話応援をしながら、身体も動かし楽しい時間を過ごしました。



さいたまみんなの会 ボッチャ体験

令和5年7月16日(日)
市民会館おおみや 集会室9

コロナ禍で集まる機会がしばらくなく、ここにきて5類に移行したことで、話し合いができるようになりました。そんな中、2020年パラリンピックの競技でボッチャがあり、みんなの会で体験してみたい。と意見が一致。埼玉県障害者交流センターの職員の協力もあり開催することになりました。

久しぶりにみんなで体を動かす運動体験。まずはウォーミングアップ。投げ方を指導いただき、いざ本番！投げる加減が難しかったようですが、だんだんと慣れてきて目標に当てることができた様子です。

本人皆、楽しかったとのこと。もっとたくさんの人たちと一緒に交流しながら体験できると楽しいのではと参加者から感想をもらいました。

3月3日にボーリング大会が5年ぶりに開催できました。たくさんの参加者で楽しい時間を過ごしました。詳細については、次回のやまびこで報告いたします。



一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の 会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?

特長1 代理手続き 代理告知が可能
特長2 告知対象 疾患の緩和
特長3 「親なきあと」に備える補償

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

「ぜんち共済株式会社」
〒102-0073 東京都千代田区入船3-3-6 丸屋B202C/A-4層
TEL: 03-4910-0850 / FAX: 03-4910-0851
URL: <http://www.alljapan.com>
MAIL: gan@ze-kyosei.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分 スマホでカンタン資料請求
※2022年10月1日より「がん保険」の取扱代理店です

2022年5月作成 22-TC00035